

令和8年度

消防ポンプ自動車(CD-I型)仕様書

下田地区消防組合下田消防本部

第1 総 則

1 目 的

この仕様書は、下田地区消防組合下田消防本部(以下「本部」という。)が令和8年度に購入する「消防ポンプ自動車CD-1型」(以下「車両」という。)の艤装、性能及びこれらに関する一切の製作について必要な事項を定めるものである。

2 適合法令等

車両の製作は、この仕様書及び製作承認図書(契約後受注者にて製作すること。)他、次に掲げる法令等に適合すること。

また、緊急車両として承認を得られるものとし納入時には緊急自動車届出確認証が車両に積載されていること。

- (1) 道路運送車両法(昭和26年運輸省令第185号)
- (2) 道路交通法(昭和35年法律第105号)
- (3) 電波法(昭和25年法律第131号)
- (4) 道路運送車両の保安基準(昭和26年運輸省令第67号)
- (5) 消防用車両の安全基準検討委員会が定める「消防用車両の安全基準について」の項目を満たし、品質確保、環境対策の配慮からISO9001認証取得による品質管理システムによって製造が行われていること。
- (6) 動力消防ポンプの技術上の規格を定める省令(昭和61年自治省令第24号)
- (7) その他の関係法令等

3 車両概要

車両は、3t車級消防車専用シャシに消防ポンプ装置(消防検定A2級)、1,300ℓの水槽を積載し、迅速確実な消火活動が行うことができる消防ポンプ自動車とする。また、本仕様書に示す項目や明細等は本消防車の概要を示すものであるから、記載されている装備等の名称等に差異があっても、本仕様書で求める性能や機能等を満たしていると受注者から申し出があり、本部が認めた場合は、これを変更することが出来るものとする。

4 製作上の問題処理等

- (1) メーカーと緊密な連絡を保ち、誠意を持って行うこと。
- (2) 仕様内容に疑義が生じた場合又は仕様の変更が必要な場合は、当本部とその都度速やかに協議し承認を得たあと施工すること。
- (3) 仕様内容については、当本部の解釈に従うものとする。
- (4) 車両の製作にあたり、法令等に抵触する問題が生じた場合は、受注者においてこれらの問題を解決し、その旨を当本部に報告すること。

5 製作上の注意

車体は、登録された車両総重量の状態において十分耐え得るもので、次のとおりとする。

- (1) 標準装備以外の各装備及び商品の取り付けは、ボルト締めを原則とすること。
- (2) 清掃、点検、車両法定点検整備含、調整及び修理が容易に行える構造とすること。
- (3) 使用取り扱い上の安全性及び操作性を十分考慮すること。
- (4) 全体的に重量軽減を図り、前後左右の荷重バランスを十分考慮すること。
- (5) 装備品等は機能的、かつ、バランスよく配備すること。
- (6) 堅牢にして長期の使用に十分耐え得るもので、維持管理が経済的に行えるものとする。
- (7) 洗浄ができ、かつ、残水等の生じない構造とすること。

また、車両が積載資機材の接触等により塗装剥離の恐れのある部分には、適切な保護対策を講ずること。

第2 提出書類

1 承認図書

受注者は、契約後速やかに当本部と詳細打ち合わせを行うものとし、その後1ヶ月以内に次の書類(A4版ファイルに綴じる。)を各2部提出し、承認を受けること。

なお、承認後1部を受注者へ返却するものとする。

- (1) キャブ改造図(空気呼吸器固定装置、後部座席改造図、電装品、各スイッチ等を含む)
- (2) 車両カタログ(シャシ5面図・諸元明細書含む)
- (3) 製作工程表
- (4) 製作図等
 - ア 艀装諸元明細書
 - イ 艀装外観5面図(縮尺1:20)
 - ウ 車体骨組図
 - エ 資機材収納ボックス製作図
 - オ 艀装品取り付け図
 - カ 主ポンプ関係図
 - キ 真空ポンプ関係図
 - ク 配管図及び配管系統図
 - ケ 電気系統配線図
 - コ はしご昇降装置関係図
 - サ 使用資機材明細一覧表

シ その他、当本部が必要と認めるもの。

2 製作着手

承認図書の審査を受けた後、着工すること。

3 進捗状況の報告

製作工程ごとの進捗状況を示す書類、写真をA4版のファイルに綴じて1部提出すること。

4 完成図面

納入時に次の書類(A4版ファイルに綴じる。)を2部提出(写し可)すること。

- (1) 自動車検証の写し
- (2) シヤシ取り扱い説明書(1部)
- (3) 整備要領書(1部)
- (4) 製作図(電送品配置図を含む)
- (5) 総務省令で定める技術上の規格に適合した旨を示す適合証の写し
- (6) 消防ポンプ(真空ポンプを含む)試験成績書
- (7) ポンプ取り扱い説明書及び整備要領書
- (8) ポンプパーツリスト
- (9) ポンプ関係配管系統図
- (10) 装備品等一覧表(保証書付)及び取り扱い説明書
- (11) 主要資機材一覧表(保証書付)及び取り扱い説明書
- (12) 車両重量実測証明書、車両転覆角度測定証明書
- (13) 納品書、納品説明書
- (14) その他、当本部が指示するもの。

5 写真(カラー、jpg形式の電子データ付)

次に掲げる写真(A4版ファイルで製本)をそれぞれの指定部数提出すること。

- (1) 完成車両(新規登録でナンバー付)の前後左右及び斜め4方向と上方前後方向並びに下方前後左右方向から撮影したもの。
- (2) 製作工程に基づくシヤシから完成車までの状況を撮影したもの。
- (3) 塗装状況が確認できるもの。(工程ごと)
- (4) 付属品を撮影したもの。
- (5) その他、当本部が指示するもの。

第3 車 両

1 諸元及び性能

- (1) 形 式 3t級消防専用ダブルキャブオーバー型
- (2) ホイールベース 2,800mm以下
- (3) 積載クラス 3t車
- (4) 許容車両総重量 7.3t以下
- (5) エンジン型式 ディーゼルエンジン
- (6) 走行出力 100KW以上
- (7) トランスミッション オートマチックトランスミッション
- (8) 駆動方式 四輪駆動
- (9) ステアリング パワーステアリング
- (10) 乗車定員 5人
- (11) バッテリー 12V/92AH以上 × 2個
- (12)オルタネーター 24V/80A以上
- (13) 燃料タンク 60ℓ以上

2 車両の主な装備品

- (1) エンジン回転計
- (2) エンジン油温計
- (3) エンジンアワーメーター
- (4) エンジンアイドリングコントロールシステム
- (5) バッテリーメインスイッチ (確認灯付、運転席左側パネルに移設)
- (6) 電流計、電圧計 (運転席インパネモニタ内)
- (7) 後方警報機(減音スイッチ付き)
- (8) フルパワーPTO
- (9) 電子ガバナ
- (10) ABS装置
- (11) ヘッドライト、フォグランプ
- (12) カーナビゲーションシステム (テレビ視聴不可)
- (13) ドライブレコーダー (前後方向)
- (14) バックアイカメラ
- (15) 専用エアコン
- (16) 集中ドアロック
- (17) 全窓パワーウィンドウ(メーカー設定が無ければ前席でも可)
- (18) サンバイザー(運転席及び助手席)、サイドバイザー(ステンレス)

- (19) 空気呼吸器固定装置(助手席レスキューシート含)
- (20) 牽引フック (前後 (引張荷重 2 t以下外れ防止付))
- (21) ラジアルタイヤ (オールシーズン)
- (22) スタッドレスタイヤ (アルミホイール、予備タイヤ含む)
- (23) タイヤチェーン
- (24) 予備ヒューズ
- (25) キャブ内足マット
- (26) 泥除け
- (27) フロントメッキグリル
- (28) ナンバーフレーム
- (29) 排ガス浄化装置 DPR+尿素SCR (尿素タンク容量 : 9. 5ℓ)
- (30) インバーター (キャブ内)
- (31) バッテリー充電器 (ずぼら充電器)

3 キャブ艤装

ボディーは、鋼板製とし走行による振動等に十分耐え得る構造で次のとおりとする。

(1) キャブ等の構造

ア キャブは、FRP素材を複合したキャブオーバーダブルキャブ型とし、天井部はハイルーフ(約200mm程度上げる)、キャブ後部は張出式(約150mm程度)とし、居住性に優れた構造とすること。後席室内高1, 600mm以上、前席室内高(運転席及び助手席の座高)は1, 250mm以上を確保すること。

イ キャブ内は底床型とし、エンジン部分の点検等が容易に行えるようにキャブが電動でチルトアップできる構造とする。

ウ キャブ上部は、変形しない強固な構造であること。赤色警光灯は埋込み一体式とし、キャブ天井部と一体型形成された構造とすること。

エ 後席乗降口のステップには、アルミ製縞板等の保護板を設けること。

オ 前席フロントステップ及びリアステップのつま先当り及びフェンダー上面はアルミ張りとする。

カ フロントバンパーを前出しし、上面にアルミ製縞板ステップを設けること。

キ 前席及び後席乗降口にステンレス製乗降用アウター握り棒を設けること。

(2) 内部装備品等

ア 隊員の乗降時及び走行時における安全の確保に必要な、握り棒 (後部座席前に外径25mm以上のステンレス製パイプ) を設け、後席の握り棒にはビニール巻きS字管フック 5 個(大きさは別途協議) を取り付け、握り棒両端の取付け部には補強を

施すこと。

イ ルーフ上部の至便な位置にルーフネットを取り付けること。

ウ キャブ内中央天井部に落下防止ネット付きルーフ棚、後部席上部にルーフ網棚を設けること。

また、前席上部左右に小物が収納可能なスペース(落下防止ゴム付)を設けること。(取り付け位置等は別途協議)

エ 空気呼吸器固定装置は、助手席に1基、後部座席用に3基を等間隔に取り付けること。

オ 後部座席の背もたれは、空気呼吸器の脱着に支障とならない座席を取り付けること。

カ ヘッドレス付近に、空気呼吸器の面体を掛けるためのフックを取り付けること。

キ 後部座席下部に収納ボックスを設けること。

ク 運転席と助手席の間にAVMモニタなどを収納及び取り付けする大容量のスイッチボックスを設けること。(AVM装置一式は載替え使用する)

ケ サイレンアンプ及び無線装置は、オーバーヘッドコンソール部に埋め込み取り付けること。なお、マイクジャックについてはダッシュボードに移設すること。

(取り付け位置等は別途協議)

コ 固定式LEDマップランプを運転席及び助手席天井部に設けること。

サ ルーフ中央上部に室内灯(LED)を設けること。

シ 各座席シートは強固な材質で制作し、防水性に優れた構造のものとする。

ス ドライブレコーダー及びカーナビゲーションシステムを取り付けること。

セ キャブ内にDC/ACインバーター(500W以上)を設置し、コンセント3箇所、USBコンセント2箇所接続可能なマグネット式OAタップを取り付けること。

第4 艀装関係

1 完成車の寸法及び重量

- (1) 全 長 6.0m以下
- (2) 全 高 3.0m以下
- (3) 全 幅 2.0m以下
- (4) 車両総重量 7.3 t未満

2 主な装備品

- (1) 消防ポンプ装置(消防検定A-2)
- (2) 1,300ℓの水槽
- (3) 三連はしご手動昇降装置

- (4) 照明装置(LED投光器)
- (5) 無線電話装置
- (6) AVM装置
- (7) 吸管巻取装置(サイドプル式電動吸管巻取装置)
- (8) ホースカー動力昇降装置

3 艀装材料

- (1) 艀装材料の厚さは次によるものとし、フロアステップ、バンパー上部、リアフエンダー上部、その他必要とする部分はアルミ製縞板とする。
 - ア 車体上部 3.5mm以上(アルミ鋼板)
 - イ 側板 2.0mm以上
 - ウ サイドエプロン 1.2mm以上
- (2) 保護枠、計器盤、蝶板、手摺り、その他金属の露出部分及び取り付け等に使用するボルトナット類の材質は全てステンレス製のものとし、ネジの緩み防止剤又は、ロックナットを使用し緩みが生じないよう確実に取り付けること。
- (3) コーキング類は弾力性があり、永年使用により硬化しないものを使用すること。
- (4) プラスチック類は、全て難燃性のものを使用すること。
- (5) ゴム製品は全て耐油性の合成ゴムを使用すること。

4 ポンプ装置関係

- (1) 主ポンプは国検A-2級以上の性能を有するインデューサー付2段バランスタービンポンプとし、素材は各装置による重量増加を解消する為、サイドカバーをアルミ製とする。但し、インペラーについては砂利等の混入にも対応できるよう強度、腐食性を考慮し、青銅鋳鉄とする。
- (2) 真空ポンプは、偏心ロータリー無給油式5翼で真空ポンプ1機の排気量1,275cc以上とし、性能等は次のとおりとする。
 - ア 規定の吸水管(80mm×10m)を使用し試験をおこなったとき、試験時大気圧の84%に達する時間が15秒以内とする。
 - イ 漏気は30秒間に10mm以内とする。
 - ウ 真空ポンプの耐久性向上のため、主ポンプと真空ポンプの間に汽水分離器を設け、水及び泥などが進入しない構造とする。
- (3) 分解及び点検整備が容易にでき、かつ振動等により緩み等が生じないようシャシフレームに確実に取り付けること。
- (4) 付属装置等は、点検整備及び修理等が容易にでき、かつ振動等により緩み等が生じないよう確実に取り付けること。

- (5) ポンプはシャシに付属するPTOにより駆動され、PTOの操作は車両両側面に設けたスイッチにより行うものとする。各動力伝達はスプラインシャフト及びユニバーサルジョイント等を使用して、車体のねじれ等に十分耐え、かつ異常な騒音を発しない構造とすること。
- (6) 非常時における真空ポンプ及びスロットル操作は手動操作装置にて行えるものとする。

5 計器類及びポンプ操作装置

- (1) ポンプ室の両側面には、次の計器を設ける。
 - ア ポンプ圧力計、連成計(リタード式)はステッピングモータを用いた電子式(透過光照灯・ゲージ部作動確認ランプ付)とし、振動等でも針振れがない構造とする。
 - イ ポンプスロットルは電子式スロットルとし、左右どちらでも同方向に回転することによってエンジン回転速度を上げ下げできるものとする。
 - ウ 自動放口閉塞弁については、車体が傾斜しても自動的に閉じる構造とする。
- (2) 多目的表示液晶ディスプレイをポンプ操作盤の中央に配置し、詳細は以下のとおりとする。
 - ア モニタ表示(警告モニタとして冷却水及び真空ポンプ作動タイムに対する警告表示ができ尚且つ警報ブザーが鳴るようにすること。)
 - また、各ボールコックの開閉状況・揚水・放水の状況確認のできるモニタ表示、ポンプ回転計・ポンプ圧力計・ポンプ連成計・流量計を各々デジタル数値によりモニタ表示ができること。
 - イ 流水表示(各ボールコックの開閉状況、ポンプの運転状況及び放水時における水の流れる状況把握ができる流水表示ができること。)
 - ウ 流量表示(各放水口ごとの流量を表示させ、流量により背景色が変化すること。)
 - エ 流量積算表示
- (3) 液晶パネルは視認性を考慮し、12.3インチ以上の液晶パネル式とする。
- (4) ディスプレイ内の各表示切換はタッチパネル式又は押しボタン式により行えるものとする。
- (5) スロットルインターロック
 - PTOが繋がっていない場合は、全てのスロットルダイヤルを操作してもエンジン回転操作が出来ない構造とする。
- (6) 緊急減圧機能
 - 左右操作盤にボタン式の緊急減圧スイッチを設け、ボタン作動時は即座にエンジン回転をアイドルまで下げ、水吐出圧力を減圧する構造とすること。

(7) 消火栓能力判定機能

水利部署した消火栓の圧力を測定し、消火栓の最大能力（最大吸水量）を判定し放水可能水量を左右液晶操作モニタ内に表示できるようにすること。

6 その他

- (1) 各操作レバー、バルブコック等の付近には、ネームプレートを取り付けること。
- (2) 各配管とも完全に排水できるように、ボールコック式ドレンコックを取り付けること。

7 冷却装置

エンジン冷却用サブラジエーター装置は水冷式とし、構造及び内容は省令に適合するもので、冷却水はタンク還流式とし効率的な仕様とする。

8 水 槽

- (1) 水槽は、1,300ℓのGFRP製又は同等以上の性能を有する水槽とし、振動及び衝撃等により損傷及び緩みを生じないように車両に固定し設置すること。内部には水の動揺を防止する防波板を設け変形及び漏れがない構造であること。
- (2) 水槽両側にタンクへの積載口(65mmマチノ式メス金具)を設けること。
- (3) 水槽水オーバーフローパイプ(100mm以上)を設けること。
- (4) 水槽上部には、マンホール式の蓋を設け、内部の点検清掃が容易にできる構造とする。
- (5) 水槽ドレンバルブを左側後輪前方まで導くこと。(取付け位置等詳細は別途打ち合わせ)
- (6) 水量計は水管浮式とし、ポンプ室両側に取り付けること。また、液晶モニタ内でも表示し、タンク放水可能時間を表示すること。

9 吸水口・放水口・中継口

- (1) 吸水口は消防呼称75mmボールコック(ストレーナー付)とし、電動吸管巻取り装置(サイドプル式)及び車両左側に設け、電動吸管巻取り装置(サイドプル式)は車体に対して垂直方向にポンプ室後方に設置する。また、吸管は左右どちら側からでも容易に引出せ、ロック及び解除ができる構造とすること。なお、吸管取出し口には金属製の三方ローラー及び金属製の補助ローラーを設け、吸管の取出しが容易に行えるよう措置を講ずること。
- (2) 各吸水口には、バイパスバルブを設け吸管から連続吸水可能な構造とすること。吸水用パイプ、ボールコック等の排水が完全に行える構造とし、排水パイプは車体

下部まで延長すること。

- (3) 水槽よりポンプの吸水結合は内径75mm以上のパイプによって行い、途中にはボールコック及び緩衝用ジョイントを使用して車両両側より開閉操作できるものとする。
- (4) 放水口(吐水口)はボールコック付とし、ポンプ室両側に各2個設けること。なお、吐出口前側は65mmと50mmが兼用できるスイーベル吐出口媒介マルチ型とし、後側はスイーベル吐出口標準型の65mmとすること。
- (5) 中継口はポンプ室両側に各1個設けること。なお、右側の中継口は75mmボールコック(エゼクター装置付き)とし、予備吸管が接続可能な構造とすること。また、右側ボールコックには呼称65mmマチノ式差込式メス媒介を取り付け、常時中継口として運用できる構造とすること。
- (6) 水槽への自己吸水は、40mm以上のパイプによって行えること。水槽への自己吸水を行うために、吐水口から積水口を接続する短ホースを付属すること。また、エンジン用冷却水はタンクに還流または地上に放出を選択可能な構造とすること。

10 取付品及び取付装置

別紙1～4のとおりで、同等以上の性能を有するものへの変更を可能とし、その際は事前に資料を提出し当本部の承認を得るものとする。

(1) 赤色散光警光灯(標識灯、スピーカー、電動モーターサイレン付)

ア 車両前側上部

- (7) キャブ上部は赤色散光警光灯、サイレン用スピーカー、モーターサイレンを埋め込み、キャブ後部は張出式とし、キャブ天井部と一体型形成された構造とする。
- (4) 標識灯は黒文字で「下田消防」と記入、キャブ天井部左右に埋込式にて取り付け、スイッチは車幅灯と連動させること。標識灯上部にLED式作業灯を取り付けること。
- (7) キャブ上部縞鋼板上に対空用としてLED点滅灯を設置すること。
(取り付け位置等は別途協議)

(2) 赤色点滅灯

ア 車両前部

- (7) 車両前部下方の左右対称の位置に取り付けること。
- (4) 点滅は、前部赤色散光警光灯と連動させること。

イ 車両後部

- (7) 車両後部上方の左右対称の位置に取り付けること。
- (4) 点滅は、前部赤色散光警光灯と連動させること。

ウ 車両側部

- (7) 車両両側部上方煽り部分の左右対称の位置に取り付けること。
 - (4) 点滅は、前部赤色散光警光灯と連動させること。
- (3) 電子サイレンアンプ
- ア 各電装品のスイッチ等は、運転席と助手席の間にセンターコンソールボックスを設け機能的に取り付けること。(取り付け位置は別途協議)
 - イ 電子サイレン及び警鐘の擬似音を発することができ、かつ拡声装置として使用できるものであること。
 - ウ サイレン等を吹鳴し任意にアンプ内蔵の合成音声を発声できるものであること。
- (4) AVM装置
- AVM装置は本部支給品を取り付けること。(現行使用のものを載せ替え使用するため、詳細については別途協議)
- (5) 照明装置
- ア 車両上部左右に照明灯及び手動式昇降装置を設置すること。
(取り付け位置等は別途協議)
 - イ 車両側面上部の左右対称の位置にLED作業灯を各2個設けること。
(取り付け位置等は別途協議)
 - ウ 車両後部にLED作業灯を2個設けること。(取り付け位置等は別途協議)
 - エ 各シャッター内側に必要数のLED作業灯を設けること。(取り付け位置等は別途協議)
- (6) ホースカー電動油圧昇降装置
- ア 車両後部に電動ホースカーを積載し、ホースカーの収納時のロック装置は、操作が容易で、かつ振動等により外れない構造とすること。なお、ホースカーは以下の仕様のもとする。
 - (7) 本体は、加納式電動ホースレイヤー (NGN25A) とし、65mmホース10本が積載可能であり、型式適合評価品であること。
 - (4) ホースレイヤーの上蓋は、取り外しが可能な構造とすること。
 - (7) 本体に、分岐管等の取付け装置を設けること。また、ホースレイヤー上蓋に管鎗、50mmホース4本以上が積載できる措置を講ずること。(別途協議)
 - (エ) ホースレイヤーの充電はオイルパンヒーターコンセントと併用し、AC100Vで充電できる構造とすること。
 - イ ホースカーとの固定は安全確実で、車両走行時において落下防止の措置を十分に講ずること。
 - ウ 電動油圧昇降装置は、ホースカーの展開に十分耐えうる昇降能力を有すること。
 - エ 電動油圧昇降装置の固定確認灯を取り付けること。
 - オ 夜間操作時に必要な作業灯を取り付けること。

カ 非常時には、手動で昇降できる手動昇降装置を設けること。

(7) 三連はしご手動式昇降装置

ア 車両上部左側の作業スペースを有効に確保できる場所に三連はしご(ステンレス製)、折りたたみはしご(ステンレス製)及びとび口2本を積載し、車体後方に手動で昇降できる装置を設けること。

イ 昇降装置は操作が容易で、かつ振動等により外れない構造とすること。

ウ 地上への降下は、収納枠に積載した状態で、基部を可能な限り地上高まで降下させることができる構造とする。

1 1 積載品及び付属品

安全確実に積載でき容易に取り外しができる堅固な装置を備え、別紙1～5のとおりで、新品のものを使用すること。また、契約から納入までの間に、各種装置、積載品及び付属品の改良又は開発が行われ、本仕様書に記載のものより機能性、耐久性等が上回る場合は、速やかに当本部と協議し検討すること。

同等以上の性能を有するものへの変更を可能とし、その際は事前に資料を提出し当本部の承認を得るものとする。

1 2 車体の形状及び艀装要領

(1) 車体の形状はボックス型とし、後部オーバーハング部分の底板部は底擦り防止のための措置を講じること。

車体は、堅牢で十分な強度及び安定度を有し、機動性、耐久性、耐食性に優れ、重量バランスに優れたもので、常時登録された車両総重量の状態において、充分耐え得るものであること。また、車体の主要構造体であるサブフレームは鋼鉄製としそれ以外の車体フレーム等は全てアルミニウム素材を使用し総体的な重量軽減を図るとともに、車体の重量バランスにも配慮すること。

(2) 車体フレームの主要構造体は、アルミニウムパネルにて構成された独立した左右の環状パネルフレームを結合し、構造体の強度は環状パネルフレームそのものと、左右各1本の支柱のみで担保し、その他の支柱、梁、壁等は強度部材として一切必要としない内部レイアウトの自由度の高い構造とする。なお、アルミニウム素材の使用にあたり応力や振動を緩和する装置を設けること。

(3) 車体を使用するアルミニウムパネルは防錆処理(アルマイト処理)を施したものとすること。

(4) 車体上面はアルミ製縞板とし、雨水等が滞留及び車体内部に浸水しない構造とすること。

(5) ポンプ操作部下部(資機材収納ボックス上部)は、アルミ製縞板とし残水等が滞留しないよう傾斜を設けること。また、残水が効率よく排水されること。

- (6) 車両両側後部シャッター内側は、アルミ製縞板張りとする。
- (7) シャンに骨組みを取り付ける場合は、リベット接手又は、ボルト締めとし、主要部分のボルトにはダブルナット等の使用により緩み止め防止を施すこと。
- (8) シャンフレームに艀装上の構造物、枠組み取り付け台等を取り付ける場合は、原則として弛緩しない方法でボルト締めとすること。
- (9) 主要積載品及び取り付け品は、それぞれ強固な固定装置を設けて積載するか、取り付けること。(取り付け位置等は別途協議)
- (10) 手摺、足掛かり、握り棒を必要な場所に設けること。
- (11) ステップにはブラケット等で補強を行い、手摺、握り棒等を取り付ける部分には十分な補強を施すこと。
- (12) 車体の重要な点検箇所及び主要部分には、点検整備に必要なスペースを確保するとともに必要な箇所には点検口又は点検扉を設け、必要箇所に作業灯を取り付けること。
- (13) 燃料給油口は、給油に際し容易な位置に設けること。
- (14) 後部フェンダーは、タイヤチェーン着装時の走行、タイヤ交換及び積雪時におけるタイヤチェーン掛けの障害とならない構造とすること。

1.3 資機材収納ボックス等

- (1) ポンプ室
 - ア 点検整備が容易に行える広さとし、上部に点検口及び手摺を設けること。
 - イ 側板は、密閉型で吸・吐水コックの補修に必要な箇所の取り外しが可能であること。
- (2) ホースカー収納室
 - ホースカー収納スペースを車両後部に設け、ホースカーの出し入れが容易に行える構造とする。なお、デッドスペースに収納箱とカラーコーン収納箱を取り付けること。
- (3) 資機材収納ボックス
 - ア 車両両側及び後面上部に可能な限り収納スペースを設けること。(資機材収納方法などの詳細は別途協議)
 - イ 車両後部のホースカー上部に空気呼吸器の予備ボンベ3本と付属品等を収納する専用ボックスを設けること。(取り付け位置等は別途協議)
 - ウ ポンプ操作部上部は左右にホースバック及び巻ホースを収納するスペースを設けること。
 - エ 車両側面右側(後部収納部)下段には、可搬ポンプ、中段には、エンジンカッター、上段には、工具等を収納するスペースを設けること。なお、上段収納ス

- ースには、前開き扉を取り付けること。
- オ 車両側面左側(後部資機材収納部後方)下段には、発動式発電機及び信号機付き投光器を収納、中段及び上段前面にパンチングパネルを設置し、ロープ等を収納できる構造とすること。また後面にも資機材等が収納できるよう可動式の棚を設けること。(詳細は別途協議)
- カ 各ボックスに積載資機材を固定する脱着が容易な固定装置(固定金具又はマジックバンド式ベルト等を)設けること。
- キ 各ボックスに取り外し可能なスノコ板を設けること。
- ク 車両上部右側に取外しができるアルミ製収納ボックスを1個設けること。ボックス後面に上開き扉を設けること。又、アルミボックスの蓋裏部に専用の固定装置を設けスコップバール等を収納すること。(大きさ及び取り付け位置等、詳細は別途協議)
- ケ ポンプ操作部上部は、左右貫通の資機材収納庫とし、収納庫床面は、左右に200mm程度張出すものとし、左右に落下防止用可動式パイプを設けること。

1.4 扉の構造

(1) 収納庫

- ア 車両両側面の資器材収納部、ホースカー収納部はシャッターとすること。
- イ シャッターはアルミ合金製ローラー方式で、耐久性、防水性を有し開閉が任意の位置において停止できる機能を有すること。
- ウ 開閉ハンドルはロック装置付きとする。

(2) リアフェンダー前後

- リアフェンダーの前後の至適な位置に足掛けステップを設置すること。

1.5 配管等

- (1) 管系統は、吸水・中継配管、吐水配管、冷却用配管、残水排除用配管、エゼクター配管及び計器配管等からなるものとする。
- (2) 摩擦損失が少なくエアポケットを生じない構造とするとともに、残水しないよう努めて下り勾配とすること。
- (3) 吐水圧力によるたわみ等の影響を考慮して、確実に固定すること。
- (4) 放水口、中継口及び吸水口等はできるだけ低い位置に設けると共に、ホース接続等の操作を考慮し適切にならべること。
- (5) 防食処理を施すこと。
- (6) 適当な位置に緩衝装置(端面を防食処理したもの)を設けること。
- (7) 水排除用配管(ドレン)は、パイプ等により車体下部まで導きボールバルブにて排

水する構造とすること。

- (8) ドレーンバルブは車体ステップ下部で集中操作ができる位置とし、走行中の雪や土砂から保護する構造であること。
- (9) 吸水・中継及び吐水のメイン配管の通水内面は恒久的な防鏡・耐腐食性を図る為の処理を施すこと。(但し、材質がステンレス製の場合はその限りではない。)
- (10) その他、当本部が指示するもの。

1 6 その他の取付品等

(1) 昇降用梯子、タラップ等

- ア 車体後部右側に昇降用梯子を取り付けること。
- イ キャブ後部ドア両側の下方に乗降用ステップを取り付けること。
- ウ 車体に吹流しボールが取り付けられる金具を設けること。(大きさ及び取り付け位置等、詳細は別途協議)
- エ 梯子、タラップ、ステップ等は、堅牢かつ昇降容易な構造とすること。

(2) 手摺及び握り棒

- ア 車体上部周囲に1段式の手摺を取り付けること。
- イ その他、車両整備等に必要の場所に手摺又は握り棒を取り付けること。

(3) 支点として使用するフックはシャシ直付けとし前後に各1箇所設けること。(別途協議)

(4) バッテリーは、引き出し装置付のボックスを取り付けること。尚、コード類はバッテリーの出入に支障がないよう十分な余裕をとると共にコード類が常時露出しないこと。

(5) 消防章は、キャブフロント部に取り付けること。

(6) 各フェンダーに、ゴム製の泥除けを取り付けること。

1 7 電装品関係

(1) 各電装品の電気配線及び無線電話装置関係の配線は、キャブ内張り内を通すこととし、キャブ本体の貫通部は、雨水等の浸入漏れを防止すると共に電装品及び各配線の取り付け箇所が容易に点検できる構造とすること。

(2) 配線及びコネクター等は、防水及び防錆性能を有するものを使用し、コネクター等に雨水が直接かからないよう露出部分にはアルミカバーで措置を講ずること。

(3) 電装品のスイッチは、十連スイッチとする。

(4) 各装置のヒューズは、集中コンソールボックスの付近に専用のボックスを設け取り付けると共に、ヒューズごとに銘板を取り付けること。

(5) 資機材収納ボックス等の照明灯

- ア 照明灯、計器灯のメインスイッチは十連スイッチに設けること。(別途打ち合わせ)
 - イ 各資機材収納ボックス内(ホースカー収納室含む)を有効に照射できるLED照明灯を必要箇所に設けること。(取付け位置等は別途協議)
 - ウ ポンプ操作部を有効に照射できる計器灯(LED)を車両両側ポンプ室内に設けること。
 - エ 車両両側シャッター上部には、車両側面を有効に照明できる作業灯(LED)を両側に各2箇所設けること。
 - オ 車両後側上部の左右赤色点滅灯の下部に作業灯(LED)を各1個設けること。
- (6) 路肩灯は、左右後輪前方付近に取り付け、車幅灯スイッチと連動させること。

1.8 無線電話装置

- (1) 無線装置本体の取付けは、当本部が支給する無線電話装置を取り付けること。
- (2) 車内用スピーカーは、トランペット式又は、コーン式高音質のものを取り付けること。取り付け位置については、事前に当本部と協議すること。
- (3) 外部無線(ハンドセット・台付)を配線し取り付けること。無線電話装置用ボックス及び外部スピーカーはシャッター内部に取り付けること。(取付位置は別途打ち合わせ)

第5 塗装等

1 塗装要領

塗装、メッキ及び文字の記入は、上質な材料を使用し、入念に仕上げること。

2 塗 色

(1) 朱 色

車両外面及びシャッターボックス外面

(2) グレー

ア ポンプ室、ポンプアッセンブリー

イ シャッターボックス内面

ウ センターコンソールボックス

(3) 黒 色

ア フェンダー内

イ 車体下廻り

* (3)については、塗装前にピッチングコート又は同等の塗装を施すこと。

3 メッキ

次の部分には、可能な限りステンレス又は、アルミ材を使用すること。ただし、鉄製品については銅メッキを施した後クロムメッキを施すこと。(ステンレス、アルミ製品を除く)

- (1) 各操作バルブ、レバー、ハンドル類
- (2) 止め金具類
- (3) 各種保護枠
- (4) 手摺
- (5) グリル
- (6) サイドミラー
- (7) その他、別途指示するもの

4 文字等の記入

- (1) キャブ両側に、丸ゴシックの白文字で、書字方向は左横書とし「下田消防本部」と記入すること。
- (2) 対空表示をキャブ上部の指揮台上面に黒文字で「西P1」と記入する。
- (3) 車両正面右側及び車両後部左側に、丸ゴシックの白文字で、書字方向は左横書とし「西P1」と記入する。
- (4) 車両シャッター左右側面及び後部に英字で「SHIMODA FIRE DEPT.」「FIRE CALL119」と記入する。(字体等詳細は別途協議)
- (5) 車両の文字についてはカットシールを使用すること。
- (6) その他、文字の大きさ、マーキング等の字体、カラーについては、別途打ち合わせによるものとする。
- (7) キャブ両側面の当本部が指示する位置に、当本部指定消防マーク(支給品)を貼付すること。

第6 検査

1 車両納入検査

シャシを艤装メーカーに納入した時期において、当本部が必要と認める場合、次の事項について当本部の担当者の立会い検査を受けるものとする。

- (1) エンジン番号及び車体番号
- (2) 取付け装置及び各付属品
- (3) その他、当本部の指示事項の確認

2 検査

本仕様書、承認図書及び協議事項に基づいて行うものとする。ただし、一部の検査については、社内検査成績表等により省略するものとする。

3 中間検査

当本部が実施するものとし、時期等については製作工程を考慮し行うものとする。検査を行う場合、受注者は製作工程等を考慮し検査日の14日前までに当本部に依頼文書を提出すること。また、検査に伴う交通費及び宿泊費は受注者が負担すること。

4 最終検査

新規登録後、当本部で行うものとし、検査の結果に不備事項又は不合格品がある場合は、当本部の指示する日までに改修又は取替えを行い、再度検査を受けるものとする。

第7 補 則

1 登録等の経費

- (1) 納入までに要する経費等は、受注者の負担とする。ただし、車両登録に要する経費のうち自動車損害賠償責任保険(保険期間25ヶ月分)・自動車重量税及びリサイクル料は当本部が負担する。
- (2) 本車両納入によって廃車する、西伊豆消防署配備の消防ポンプ自動車の登録抹消の引き取り廃棄処分に係る費用は受注者が負担すること。
ただし、当本部が当該車両の売却を行う場合はこの限りではない。
(詳細は別途協議)

2 保証期間

納入の日から起算して1年間とし、保証書を提出すること。ただし、保証期間経過後であっても設計不良、制作上の欠陥等による故障等を生じた場合は、無償で修復または取替え等を行うこと。なお故障等が生じた場合の修理等については、速やかに対応すること。

3 納 入

- (1) 新規登録後、各部の清掃手入れを実施のうえ、当本部の指示する場所へ納入すること。なお、現場活動に即対応するために燃料は満タンにして各種申請書類や届出書類は提出を完了許可後に納入すること。
- (2) 納入期限
令和10年3月17日
- (3) 納入場所
静岡県賀茂郡西伊豆町中246番地
西伊豆消防署

(4) 納車台数

1台

4 取扱い説明

納入時、当本部の担当職員に対して、専門係員を派遣し当本部において取扱い説明を行うこと。

5 その他

AVM及び無線電話装置の載せ替え、取り付けに係る費用は受注者が負担すること。

車両ナンバーは、本部が指定したものとする。

本仕様書の記載事項に疑義のあるときは、その都度本部に確認すること。

また、同等品への変更等を行いたい場合は、当本部に対し協議を申し入れ承認を得た後に施工すること。

車両関係

番 号	品 名	数 量	備 考
1	シャシ：日野デュトロ	1	4 駆AT
2	エンジン回転計	1	シャシ固有のもの
3	エンジン油温計	1	シャシ固有のもの
4	キャブチルト装置	1	電動式
5	サイドバイザー	4	ステンレス製
6	牽引用フック	2	前後(引張荷重2t以下外れ防止付)
7	タイヤチェーン	一式	シャシ固有のもの
8	予備ヒューズ	一式	
9	ラジアルタイヤ (オールシーズン)	一式	
10	スタッドレスタイヤ	一式	ホイール、予備含む
11	キャブ内足マット	一式	
12	泥除け	4	
13	フロントステップ	2	左右各1個アルミ張り
14	リアステップ	一式	左右各1個アルミ張り
15	フロントバンパー前出し上面アルミ張り	1	幅広タイプ
16	乗降用アウター握り棒ステンレス	4	左右各2個
17	中間パイプ	1	後部席
18	後部座席下部収納ボックス	2	後部座席下部左右各1個
19	カーナビゲーションシステム	1	テレビ視聴不可仕様
20	ドライブレコーダー	1	前後
21	メッキミラーカバー	3	各サイドミラー
22	助手席空気呼吸器収納シート	1	レスキューシート
23	昇降用梯子及びビステップ	1	車両後部右
24	中間パイプS字管フック	5	ビニール巻きフック
25	車外無線送話機取出口	2	左右各1個 開放型ボックス付
26	キャビン室内灯	1	LED
27	キャビン内ルーフ網棚	1	後部席上部
28	キャビン内ルーフ棚	1	キャビン中央上部(落下防止ネット付き) 前面パンチングメタル
29	補修用塗料	各1缶	ボディー及び収納庫内塗装色等
30	後輪照明灯	2	LED
31	マップランプ	2	運転席・助手席天井部(固定式)

主要装備品及び取付物品(積装関係)

番号	品名	数量	備考
1	構造積装		
	フレーム構造 (バーシヤッター含む。)	一式	
	フェンダーステップ	4箇所	左右各2箇所
2	キャブ積装		
	赤色灯一体型ハイルーフ改造	一式	
	キャブ積装上部アルミ張り	一式	
	標識灯左右	一式	
	消防章	一式	
3	キャブ内積装		
	センターコンソールボックス	一式	
	キャブ内100Vコンセント	一式	
4	電装関係		
	エンジン室内灯	適当数	
	バッテリー充電器(ずぼら充電器)	一式	
	マグネットコンセント改造	一式	
	ポンプ室内灯(LED式)	適当数	
	PTOスイッチ増設 左右ポンプ操作部	一式	
5	主要装置		
	消防ポンプ装置	一式	検定A-2級、真空ポンプ
	ポンプ配管	一式	
	真空計	2	
	ポンプ自動調圧装置	一式	
	タンク補給口キャップ	一組	
	水槽水取出口左右	一式	
	不凍液吸入装置(カブラー一式)	一式	
	液晶モニター	一式	
	液晶モニター水量計		液晶モニター含む
	ポンプ圧力計	2	透過光照明灯付 液晶モニター含む
	ポンプ回転計	2	液晶モニター含む
	流量計	4	液晶モニター含む
	積算流量計	1	液晶モニター含む
	ポンプ達成計	2	透過光照明灯付 液晶モニター含む
	冷却装置	1	エンジン冷却用
	水槽	1	1,300ℓ以上
吸口ストレーナー	2	ステンレス製	
6	その他積載装置等		
	展開式バンチングパネル	一式	
	予備ボンベラック	一式	
	防火衣掛けパイプ左右	一式	
	その他積載装置等	一式	
	ポンプ工具	一式	
	文字入れ一式	一式	車両前、両側面、後部、上部
	車両回送費用		

主要装備品及び取付物品(照明関係)

番 号	品 名	数 量	備 考
1	赤色警光灯(キャビン上部)	1	ハイルーフ一体型
2	赤色警光灯(アンプ)	1	大阪サイレン Mark-D1
3	赤色点滅灯(フロントパネル部)	2	大阪サイレン LFA-200
4	赤色点滅灯 (両側面上部各 2 個)	4	大阪サイレン LFA-200
5	赤色点滅灯作業灯一体型(後部左右)	2	大阪サイレン LFIA-300 (プロテクター付)
6	スイッチボックス	1	キャビン内取り付け(10連)
7	作業灯(ボディー両側面上部各 2 個)	4	LED作業灯
8	作業灯(ハイルーフ)	2	LED作業灯
9	作業灯(シャッター内)	必要数	ボックス内LED
10	照明灯(LED手動式伸縮装置付)	2	佐藤工業製作所 FLASHBOY LED NEXT
11	対空赤色灯	2	ウィレン VTXFCR24

主要装備品(取付物品関係)

番 号	品 名	数 量	備 考
1	デジタル無線機一式	1	取付含む(本体は本部支給)
2	AVM一式	1	取付含む(本体は移設)
3	吸管	1	80mm ×10m
4	フンタッチ吸管ストレナー	2	ストカゴセット(差込みオス媒介・フック付ロープ)
5	消火栓媒介金具	2	80mmメスネジ×65mm差込メス(吸管用)
6	中継用媒介金具	1	75mmメスネジ×65mm差込メス(左右中継口用)
		1	65mmメスネジ×66mm差込メス(左右中継口用)
7	放口媒介金具	2	マルチスイベル付コネクタ×2
8	放口媒介金具	2	マルチコネクタ×2
9	消火器	1	ABC粉末10型
10	呼吸器固定器具	3	後部席3器用(マジックテープ式)
11	車両上部収納ボックス	1	アルミ製
12	はしご昇降装置	1	手動昇降装置
13	吸管巻取装置	1	サイドプル式自動巻き取り
14	ホースカー昇降装置	1	電動昇降装置(ノズル、分岐管、媒介金具取付加工含む。)
15	DC/ACインバーター	1	500W以上

主要装備品 (積載物品関係)

番号	品名	数量	備考
1	拡声器	1	ノボル電機 かる〜いホンTD-503R
2	ホースバック	2	セイバース RS-W-02
3	ボルトクリッパー	1	松坂鉄工所 ZBC600
4	サルベージシート	1	
5	ポリ缶	2	20L (青)
6	電動ホースカー	1	NGN25A 上部重量物積載補強あり
7	折り畳み式単はしご	1	関東梯子 KS-1-36
8	車輪止め(取っ手付)	2	硬質ゴム製
9	可搬ポンプC-1	1	シバウラ防災製作所 FT310M
10	可搬吸管	1	軽量5m
11	吸管枕木	2	ゴム製
12	三角停止板	1	
13	発動発電機	1	本田技研工業 EU9 i
14	差込オス媒介	1	オスオス65-65
15	差込メス媒介	1	メスメス65-65
16	ダイレクトバルブ	1	シバウラ防災製作所 SRV2000-65B (65mm用)
17	ガンタイプノズル	1	YONE セレクトオートGフォースノズル
18		2	YONE ポアテックスNV-50VX
19	強力ライト	5	ペリカン2410PLC
		2	ストリームライト サバイバー ビボット 米国防爆Div.1(オレンジ)
20	面体用フック	4	ヘッドレスト付近
21	S字フック	20	ビニール巻き
22	スノコ板	7	各ボックス
23	ガソリン携行缶	1	5リットル
24	吹流し用ボール	1	車両に取り付け金具
25	とび口	2	グラスファイバー製
26	誘導棒	2	高輝度誘導ライト
27	工具箱	1	藤原産業(株)EST-2280RE
28	二股分岐管マルチ	2	YONE WB-65MCSW
29	三連梯子	1	関東梯子 KHFL - SIW87
30	カラーコーン	2	ライトアップコーン (伸縮式)
31	耐電手袋	3	ヨツギ YS-101-21
32	金てこ	1	e25長さ850mm程度
33	マンホール用開閉金具	2	1組
34	投光器	1	マキタ ML008G (バッテリー-BL4050F 2個・ML008G用三脚・急速充電器DC40RB2口)
35	吸管スパナ	2	TS3047
36	巻き尺	1	50m
37	信号連絡機能付き LED可搬式投光器	1	X-BUSTER LED (E054)、ケーブル30m (蓄光ストライプケーブル)
38	エンジンカッター	1	マキタCE001GZN バッテリー-BL4050F 2個・急速充電器DC40RB2口・A-77285切断砥石・A-53877レーザーブレード
39	RITバッグ	1	Courant RIT PAC ONE エアーバッグ
40	ホース65mm	9	キンバイ商事NEWプロファイター-A(1.6Mpa) ACロック町野 ニューアトラス付リング締め (ルミタイヤ付) 特色: オレンジ
41	ホース50mm	6	キンバイ商事NEWプロファイター-A赤(1.6Mpa) ACロック町野 ニューアトラス付リング締め (ルミタイヤ付) 特色: オレンジ
42	短ホース65mm	1	キンバイ商事NEWプロファイター-A(1.6Mpa) ACロック町野 ニューアトラス付リング締め (ルミタイヤ付) 特色: オレンジ
43	背負い式消火水のう	5	バルファーストVF
44	熱画像直視装置	1	FLIR K75
45	個人警報器	5	モーションスカウト
46	耐熱ロープ	1	EDELWEISS テンプ11mm ホワイト 100m
47	ホース洗浄機	1	YOKOI PRO PATWasher